

教員新風

2025年4月に着任した、
情報学部の新しい先生をご紹介します。



よしだ まこと
吉田 誠 講師



吉田講師の
紹介ページ



さいき つねまさ
才木 常正 教授



才木教授の
紹介ページ

研究 テーマ

- バイオリギングを用いた魚類の回遊追跡・行動解析手法の開発
- 特定外来生物チャネルキャットフィッシュの分布把握と生態解明 など

研究内容

生物多様性が急速に失われている現在、生きものの生態を知ることが何より重要です。私はバイオリギングというセンシング手法を用いて、移動範囲が広く長期的な観察が困難な野生動物の生態を明らかにする研究に取り組んでいます。



休日は愛車を
駆っています！

お気に入り

研究 テーマ

- 農作物から魚類までを対象としたセンサおよび計測技術の研究
- 医療・リハビリ分野における作業効率等を向上させる装置の研究開発 など

研究内容

人と機械がストレスなく関われるシステムや、目に見えないほど小さなセンサが専門分野です。これらのデバイス・技術を活かし、人や生き物がよりWell-beingに生きられる社会をつくることを目標に取り組んでいます。

お気に入り

学会での訪問先
スイスの1枚！



地域への取り組みと今後の展望

自身の技術とDXを掛け合わせ、京都市北部の農林水産業を支える仕組みづくりに挑戦したいです。また、公務員として積んだ経験を活かし、地域の人が安心して暮らせるまちづくりにつながる研究にも取り組んでいます。

まちかどキャンパス「吹風舎」

新町商店街にあるサテライトキャンパスの「吹風舎(ふくちしゃ)」では、学生・教職員や地域の人々が集い、学び合いや共同作業を通じて交流を深めています。

開館日 火～土曜日 / 13時～18時
※祝日、お盆休み、年末年始は休館

利用方法 個人、グループで自由に使う場合 ▶ 予約不要
市民活動やサークル、ゼミで貸切利用する場合 ▶ 要予約



地域の皆さんも
ご利用可能です！

まちかどキャンパス「吹風舎」
〒620-0028 福知山市上新7番
TEL:0773-45-3087
Email:machikado@fukuchiyama.ac.jp

北近畿地域連携機構

企業や行政機関、地域の皆さんからの課題や相談を受け、教員につなぐ橋渡しの役割を担っています。共同研究や受託事業をお考えの方はぜひご連絡ください。

Kita-re

大学との
連携相談は
こちら！



☎ 0773-24-7151 詳細はこちら

大学公式SNS イベント情報などを発信しています！



友だち追加はこちら▲



@univfukuchiyama



@UnivFukuchiyama

皆様のご意見を
お寄せください！

大学への
ご意見はこちら



福公大だより

学会新風

福公大だより「学会新風」 Vol.8

福知山公立大学で

教員免許が
取れるようになりました！

福知山公立大学で、
いよいよ教職課程がスタートします。

北近畿では初となる、中学校・高校の数学、そして高校の情報の教員免許を本学で取得できるようになりました。地域とともに学び、地域の未来を支える“先生”を福知山から育てたい。そんな思いのもと、情報学を基盤とした論理的思考力やデータ活用能力、そして「学び続ける力」を備えた次世代の教育者の育成に取り組んでいきます。子どもたちの成長を支える先生を、このまちから——。福知山の未来につながる新たな学びが始まります。

取得
できる
免許
状

免許状の種類	免許教科
中学校教諭一種免許状	数学
高等学校教諭一種免許状	数学
高等学校教諭一種免許状	情報

教職課程とは？

大学などで「教育職員免許状」を取得するために必要な科目を履修し、単位を修得する課程のことです。

何の教科？

中学校の数学、高校の数学、高校の情報の3種類です。

どうやったら取得できる？

大学の卒業要件を満たしたうえで、教員免許取得に必要な所定の科目(教育実習を含む)を修得することで教員免許を取得できます。詳しくはウェブサイトの「教職課程」ページをご確認ください。

対象は？

2026年度入学以降の情報学部の学生が対象です。

詳しくはウェブサイトの
「教職課程」ページをご確認ください。



福知山公立大学教職課程の特色

地域に 貢献する先生に

地域での学びを活かし、
学校と地域の
未来づくりに貢献します。

情報社会に 強い先生に

データ活用や論理的思考など、
情報学部ならではの力を
授業に活かします。

学ぶ楽しさを 伝えられる先生に

自ら学び続け、
生徒にも“学ぶ喜び”を
届けられる力を育てます。

次世代を 支える先生に

子どもたち一人ひとりの
良さを伸ばし、社会に貢献できる
成長を支えます。

地域とともに次代を紡ぐ

福知山公立大学
The University of Fukuchiyama

【地域経営学部】

地域経営学科 / 医療福祉経営学科

【大学院地域情報学研究科】
地域情報学専攻

【情報学部】

情報学科

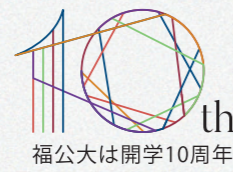
〒620-0886 京都府福知山市宇福3370
TEL:0773-24-7100 FAX:0773-24-7170
https://www.fukuchiyama.ac.jp

福知山公立大学 検索



発行 公立大学法人福知山公立大学 発行日 2026年2月

開学10周年



福知山公立大学は2026年度に開学10周年を迎えます。これまで、地域の皆様とともに多くの学びを育んできました。温かなご支援に心より感謝申し上げます。



地元の防災訓練活動への参加



フィールドワークの様子(夜久野町)



大学祭(福知山駅)



地域の祭りへの参加(三和町)



まちかどキャンパス「吹風舎」(新町商店街)



大江リサーチベースでの交流(大江町)

実施予定の10周年記念事業

- 周年記念式典
- いこてん
- 10周年記念誌
- DX推進



地域とのつながり

福公大では、北近畿をフィールドとして教室での学びを実践し、地域の方々との協働を通じ社会課題の解決をめざす活動を推進しています。

AI×学生×地域の連携による“持続可能な地域ブランド戦略” 農産加工品のマーケティングを通じて地域価値を創造する



既存商品の市場拡大を行うため、認知度向上や販売戦略の強化に挑戦。活動を進める中で最も印象的だったのは、ターゲットに合わせた訴求ポイントの違いです。観光客の方、若い世代、地元の方に合わせて、価値の伝え方をそれぞれ工夫することが不可欠であると実感しました。AIを使った情報発信も実施。AIの提案を地域の文脈に合わせてアレンジする過程は、非常に学びの多い経験となりました。また、事業者や行政の方々との意見交換を通じ、「自分たちの学びが地域の産業や課題解決に直結している」という手応えを強く感じ、学生ならではの視点で、地域産品の魅力発信を今後も積極的に続けていきたいです。

地域の声

張先生と学生の皆さんが、地域ブランドの発展をめざして販売支援に積極的に取り組んでくださる姿は、我々事業者にとって大きな励みです。今後も、地域と大学が連携し、より多くの方に魅力が伝わる商品づくりと発信をともに進めていければ幸いです。



地域経営学部2年
担当教員:張明軍 准教授
つばさ か
椿 すぐ花さん



割烹さとう(酒呑童子の里どぶろく鬼ババー)
さとう のりこ
佐藤 則子さま

地域の声

京都府中丹広域振興局では、地域の農林水産物を使った魅力ある加工品を「京都中丹いちおし商品」として選定しています。商品選定の審査員および福知山公立大学と連携し、商品PRや販路拡大に加え、商品のブラッシュアップと事業者のスキルアップ支援にも力を入れ、認知度向上をめざしています。

京都府中丹広域振興局
農林商工部農商工連携・推進課さま

ご寄附のお願い

教育研究・地域連携を通して社会の発展に貢献できるよう「福知山公立大学基金」を設置しています。ご支援いただく皆様からの寄附金は、持続可能な地域社会づくりに向けて、大学の特性を活かしたさまざまな事業に活用させていただきます。

福知山公立大学基金

- 寄附の目的
- 1 教育、研究活動、地域貢献活動の充実
 - 2 学生支援の充実
 - 3 施設・設備の整備
 - 4 その他大学運営の向上
 - 5 10周年記念事業の充実

※1口当たりの金額は定めておりません。



寄附申込みや詳細はこちら

福知山市のふるさと納税による寄附

福知山市外にお住まいの方は、ふるさと納税を通じて本学の教育研究環境の整備や学生への支援事業等に寄附いただくことが可能です。福知山市の特産品の中から希望の返礼品が贈呈されます。



ふるさと納税の詳細はこちら

※寄附金の使い道の選択の際に「福知山公立大学」のご選択をお願いいたします。



日本鬼師の会さまより、全国各地の鬼瓦4点を本学へご寄贈いただきました



寄附については、総務・財務課までご連絡ください。

地域とつくる体験型ゲーム—「イル未来と」を盛り上げる学生の挑戦



大学院地域情報学専攻2年
担当教員:倉本 到 教授
よしおか まさと
吉岡 誠人さん

福知山鉄道館フレレルの施設内での、体験型ゲームを制作。壁に映った影の部分にだけ映像が見える仕組みを活用し、画面の中を動き回る福知山市のキャラクターを追いかけるゲームです。クリアすると、福知山市の名所が現れ、遊びながら地域の魅力を感じられます。開発時は、センサーのノイズ除去と、リアルタイム性の向上に苦戦しましたが、調整を重ね克服。イベントでは2日間で200名以上の子どもたちがゲームを体験し、楽しそうにキャラクターを追いかける姿を見て、自身の研究が地域課題解決に直結していると感じました。倉本先生には『人に利用してもらえる』『地域に役立つ』という実感ができる研究は、まさに本専攻科らしさを体現したものと評価いただきました。

地域の声

この度、福知山鉄道館フレレル内で体験型ゲームを実施いただき、吉岡さんの研究成果を、多くの方々に楽しみながら知っていただけたことをとても嬉しく思います。今後も、ご自身の研究を深められ、さまざまな団体との連携を通して、地域活性化にお力添えいただけることを期待しています。

福知山市役所 商業観光課さま